

だれもが安心して住める居住コミュニティの実現に向けて

～貸主と入居者、地域と住民、それぞれの関係と役割～

「空き室は埋めたいが、高齢者や外国人、障害者の入居は不安」とお悩みの賃貸住宅のオーナーさん、「地域や団地の空き家が増えた、少子高齢化で地域コミュニティに元気がなくなった」そんな悩みを解決したいと思っている方々。

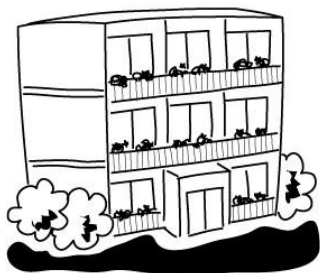
こういった皆様からの声に応えて、このシンポジウムでは、入居支援や居住支援のあり方についての講演や、先進的な事例の紹介をして、問題解決のためのヒントを提供します。

参加者の交流の場もありますので、一般の方もお気軽にご参加ください。

- ◆開催日時 平成24年3月8日(木) 13:30～17:30
会場 横浜情報文化センター 6階 情文ホール(横浜市中区日本大通11)
(みなとみらい線「日本大通り駅」情文センター口直結、JR横浜市営地下鉄「関内駅」徒歩10分)
定員 150名(先着順、参加費無料)※申込方法は、裏面をご覧ください。

◆プログラム

- 基調講演・・・ あんしんな賃貸居住環境の構築に向けて
14:00～
～これからの賃貸経営と地域との関係～
講演者：新井信幸 氏(東北工業大学講師)
- 事例発表・・・ ①サービス付き高齢者向け住宅の供給について
15:10～ 株式会社学研ココファン
②公田団地における見守り支援システムについて
独立行政法人都市再生機構
③新聞配達による高齢入居者の見守りについて
株式会社小菅不動産
④ドリームハイツにおける交流サロンの運営について
特定非営利活動法人いこいの家 夢みん
⑤外国人入居支援の取組みについて
特定非営利活動法人かながわ外国人すまいサポートセンター
⑥障害者の生活支援について
社会福祉法人心の会



- パネル展示・・・ 同会場ホワイエにて
13:30～ 事例発表団体の他、高齢者、障害者、
17:30 外国人等に対する居住支援やコミュニティ再生に取り組んでいる団体のパネル等を多数展示しています。
この機会に各団体の担当者等との情報交換もどうぞ。

<展示団体(予定)>

- ・事例発表団体
- ・(NPO)アクションポート
- ・(NPO)横浜プランナーズネットワーク
- ・多文化まちづくり工房
- ・サービス付き高齢者向け住宅事業者

※「神奈川県居住支援協議会」は、高齢者をはじめとする住宅確保要配慮者の居住支援を目的として、平成22年11月に設立された県内の宅地建物取引業者、住宅供給事業者、居住支援団体、行政によるネットワーク組織です。

参加申込書

[申込方法]

参加を希望される方は、次の項目（参加者名等）を記入の上、本用紙をFAXで神奈川県居住支援協議会事務局まで送信して下さい。

複数名で参加される場合は、代表者を含む合計人数を記入して下さい。

FAX : 045-664-9359

(※番号をお間違えのないようにお願いいたします。)

神奈川県居住支援協議会事務局 行

ふりがな 参加者名		
ふりがな 会社名		
住所・ 会社所在地	〒 () (自宅・勤務先)	
電話・ FAX	電話 () -	FAX () -

※ 提出いただいた個人情報は、本シンポジウム以外に使用いたしません。

※ 参加証の発行や受付確認のご連絡はいたしません。当日、会場受付まで直接おいで下さい。

※ 定員に達した後にお申込みをいただいた場合のみ、お断りの連絡をさせていただきます。

会場案内図 横浜情報文化センター 情文ホール

みなとみらい線「日本大通り駅」 情文センター口直結、JR・横浜市営地下鉄「関内駅」 徒歩10分



お問い合わせ先

神奈川県居住支援協議会事務局 (社) かながわ住まい・まちづくり協会

〒231-0007 横浜市中区弁天通3-48 県公社弁天通三丁目共同ビル2階

TEL : 045-664-6896 FAX : 045-664-9359

受付時間 (月曜~金曜9:00~17:00 土・日・祝日定休)